

「公共工事コスト縮減対策に関する新行動指針」

【 施策名： (1) 工事コストの低減 1) 工事の計画・設計等の見直し 技術開発の推進 】

法面補強工事における工法の見直しによるコスト縮減

工事名：幹線水路法面補強工事

概要：(従来)

棒状補強材による法面補強工法
(グラウンドアンカー工法)

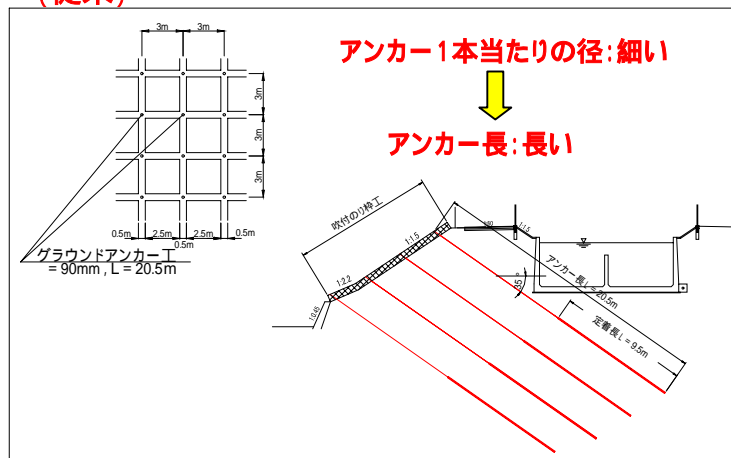
(新)

攪拌混合補強体による法面補強工法
(ラディッシュアンカー工法)

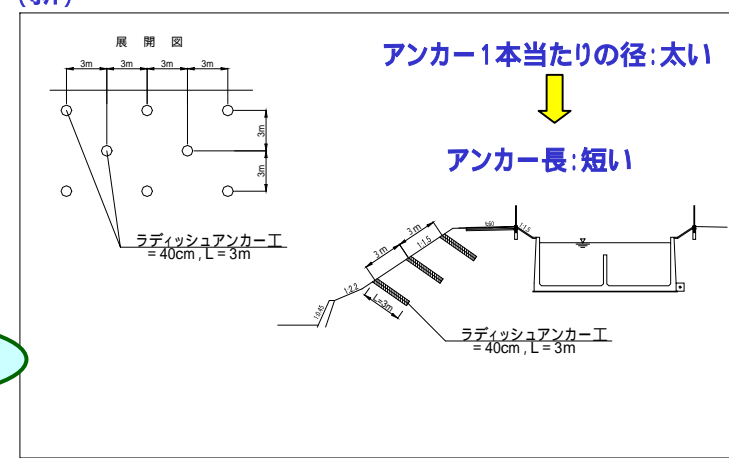
効果：

従来工法に比べ、広範囲の既設法面に適用可能。
地山・盛土内部の改良により、地震に対する高い補強効果。
従来工法に比べて施工機械が小規模により、仮設費の縮減。
法面補強工事費を、194百万円から101百万に縮減。
(縮減額 93百万円、縮減率 約48%)

(従来)



(新)



新工法採用